

『共立研究』『Emergence』バックナンバー一覧

* 『Emergence 創発』は9巻まで『共立研究』の旧称で刊行していました。

巻数	号数	特集テーマと内容
共立研究		
VOL. I	No. 1	『共立研究』創刊の辞 櫻井圀郎／現代のキリスト教哲学（1） 稲垣久和
VOL. II	No. 1	現代のキリスト教哲学（2） 稲垣久和／『般若心経』偽典説 大和昌平
	No. 2	現代のキリスト教哲学（3） 稲垣久和／キリスト教と日本文化研究センター近況 「ニューエイジー古代異端の再来」 ピーター・ジョーンズ著／櫻井圀郎訳
	No. 3	キリスト教女子教育と近代日本文化 湊 晶子 アメリカにおけるピューリタン研究の動向 増井志津代
VOL. III	No. 1	Nihon no Shingaku : Takakura Tokutaro Nelson Jennings The Charismatic Movement and Japanese Culture. Part1 W.Robert Shade
	No. 2	「正統主義神学の刷新を目指して（1）」 ヘンドリック・G・ヘルツェマ著／稲垣久和訳 The Charismatic Movement and Japanese Culture Part 2 W.Robert Shade
	No. 3	縁切寺と離婚の法 櫻井圀郎 「正統主義神学の刷新を目指して（2）」 ヘンドリック・G・ヘルツェマ著／稲垣久和訳
VOL. IV	No. 1	「神の宣教の民：宣教学的教会観」 チャールズ・E・ヴァンエンゲン／倉沢正則抄訳 「正統主義神学の刷新を目指して（3）」 ヘンドリック・G・ヘルツェマ著／稲垣久和訳
	No. 2	特集 変貌する世俗社会と教会 講演「私の名はレギオンーポストモダン文化入門」 サンダー・フリフューン パネルディスカッション「21世紀日本の宣教スピリット」 稲垣久和・湊 晶子・松本保羅
	No. 3	特集 神学と社会科学 「視点・世界観・構造」サンダー・フリフューン／福田敬三訳 「ただ一つの道」サンダー・フリフューン／渡邊彰子訳
VOL. V	No. 1	特集 神学と人文科学 新約聖書とギリシア・ローマ古典 小林高德 C. S. ルイスの弁証学における想像力の役割 井上政己
	No. 2	特集 神学と自然科学 「自然の神学」の展開ーパネンベルクとポーキングホーン 稲垣久和 科学の時代の宗教 イアン・バーバー
	No. 3	特集 キリスト教信仰と文化 ジョンH・ヨーダーとH・リチャード・ニーバー 藤原淳賀 オリエントの文脈に照らした「契約を『結ぶ』」行為ーエレミヤ31章31節 菊池実
VOL. VI	No. 1	特集 日本における神とキリスト者と社会ー「政教分離」と「キリスト者の政治参加」をめぐって “政教分離”をめぐって 稲垣久和／日本における神とキリスト者と社会 佐布正義 教会とキリスト者の「政治的参与」におけるー神学的視座の確立を求めて 三川栄二 「政治」とキリスト者の責任 櫻井圀郎
	No. 2	「心理臨床から見た『人格』」ー現代病としての境界例 杉谷乃百合 「大学における神学の役割」 J・ポーキングホーン／稲垣久和訳
	No. 3	フィリピンの社会構造とキリスト教ー国民統合における植民地的遺制と教会 宮脇聡史 沖縄の民俗と信仰心 櫻井圀郎
VOL. VII	No. 1	借成伝道女学校、共立女子神学校、そしてバイブルウーマンー失われた姿を求めて 鈴木正和 付録：大貫共立伝道教会 鈴木正和
	No. 2	教会形成神学としての高倉徳太郎の神学：序説 崔 炳一 Memetics, Language, and Theology Joseph Poulshock
	No. 3	特集 グローバル時代の国際秩序とキリスト教 同時多発テロと宗教 稲垣久和 アフガン難民に対するNGOの働き 浜田文夫 国際社会学的な断片的コメント 宮脇聡史 ビンラディン「革命」が現代に問いかけるもの 東條隆進 発題者間の討論 稲垣+浜田+宮脇+東條
VOL. VIII	No. 1	特集 公共の神学と戦後デモクラシー 公共の神学とラディカル・プロテスタンティズムの射程 深井智朗 公共の領域と他者への自由と愛 江藤直純

		<p>今なぜ「公共の哲学」か 稲垣久和 パネルディスカッション 深井+江藤+稲垣</p>
VOL. VIII	No. 2	<p>特集 キリスト教ボランティアがひらく公共性 神の国をこの世に示すために 倉沢正則 / 「新たな公共」の創造のために 現場レポート (辻岡健象・田代麻里江・神田英輔) / パネルディスカッション</p>
	No. 3	<p>キリスト教の独自性—ATA韓国 / 日本合同神学研究会議 倉沢正則 賀川豊彦—信仰と生活世界の融合を目指して 東中三枝子 マクグラスにおける公共神学 稲垣久和</p>
VOL. IX	No. 1・2	<p>特集 宗教の公共性</p> <p>1. 公共性概念の基礎 公共の哲学・神学とはなにか? 稲垣久和 キリストにあるポリス形成のために—初代教会における公共性に関する試論 小林高德 アルトゥジウスの政治思想 稲垣久和 信仰を告白する教会と公共性—自由の伝統 藤原淳賀</p> <p>2. 国際関係と公共空間 カルト・セクト論争と宗教的ナショナリズム 中野 毅 公共空間とバルカン / 公共空間とアフガン 堀江浩一郎</p> <p>3. 経済・福祉・生活世界 日本のカトリック教会と公共性の模索 新屋重彦 経済行為と公共性 石戸光 社会の基礎的な関係—ハイエク、コモンズ、社会政策 森建資 社会福祉における「公共の哲学」の必要性 河 幹夫 生と死から考える公共性—東海大学安楽死事件判決を手がかりに 河見 誠</p> <p>まとめ 市民的公共性の新たな選択 稲垣久和</p>
		No. 3
	<p>Emergence 創発 *『共立研究』をリニューアル・改名</p>	
VOL. X	No. 1	<p>特集 記憶と追悼 ・社会的贖罪信仰と追悼礼拝 大庭昭博 ・「公共の記憶」と公共宗教 稲垣久和 ・日本キリスト教史における福祉 山口陽一</p>
	No. 2	<p>特集 記憶と追悼 II ・ノイエ・ヴァッへの歴史的位置—国民国家と戦没者追悼 南 守夫 ・英連邦戦没捕虜追悼礼拝の始まりと今後 雨宮 剛 ・追悼の多文化主義のために—戦没者慰霊/追悼のハイブリッド性と政治性 栗津賢太 ・戦争の記憶と“日本的伝統” 稲垣久和</p>
	No. 3	<p>特集 キリスト教公共福祉の可能性 ・社会福祉構造の変革と公共空間の創出 木原活信 ・キリスト教福祉と公共哲学 稲垣久和 ・社会福祉の公共性と信仰 河 幹夫 ・超高齢社会に求められる市民的エートスと実践 井上貴詞 ・Book Review: 木原活信著『対人援助の福祉エートス』 豊川 慎</p>
VOL. X I	No. 1・2	<p>特集 科学とスピリチュアリティ ・リアリティと科学至上主義 阿部正紀 ・複雑系における科学と宗教 稲垣久和 ・モラルのリアリティと言語 ジョセフ・ポーショック ・社会医学と倫理 稲葉裕 ・アメリカの道徳教育—Character Education が示す公共的スピリチュアリティの不在 杉谷乃百合 ・緩和ケアとスピリチュアルペイン 河正子 ・スピリチュアリティは科学として検証可能か?—科学と神学の〈間〉 稲垣久和</p>
		No. 3

VOL. X II	No. 1	特集 戦後和解と市民的公共性 <ul style="list-style-type: none"> ・戦争裁判・賠償から考えるアジア太平洋戦争—BC級戦犯を中心に 内海愛子 ・慰安婦問題と公共性 アジア女性基金とNHK番組改変問題をめぐって 東海林路得子 ・戦後和解と戦死者の追悼について 小菅信子 ・赦しと和解をいかに問うか—戦争罪責のキリスト教哲学に向けて 豊川 慎 ・市民の政治参加の根拠 稲垣久和 	
	No. 2・3	特集 パッションからミッションへ—市民社会とスピリチュアリティ <ul style="list-style-type: none"> ・民間非営利活動におけるミッションとスピリチュアリティ 山岡義典 ・非営利組織の存在意義とスピリチュアリティ 島田 恒 ・「持続可能な福祉社会」の可能性と日本—コミュニティ、スピリチュアリティをめぐる課題を視野に 広井良典 ・NPO、福祉、環境そして公共性 稲垣久和 	
Vol. X III	No. 1	特集 市民社会のつながりを再生する <ul style="list-style-type: none"> ・有機的なコミュニティを創る 柳瀬 敬 ・「気づき」と「つながり」のプラットフォームをつくる 一愛・地球博にはじまる創発型市民参加の経験から 小川巧記 ・住民流・助け合い起こし—これからの地域福祉のあり方 木原孝久 ・ケア・サービスと「友愛」の倫理 稲垣久和 	
Vol. X IV	S r c i p r o j e c t f o r M i n i s t r y i n J a p a n	No. 1	脳神経科学とポジティブ心理学 I <ul style="list-style-type: none"> ・回復された言葉 稲垣久和 ・脳と心 古代インド仏教と現代脳科学における「心」の発見 1:フリーマン理論とは何か 浅野孝雄 ・Quantum Brain Dynamics and Quantum Brain Field Theory 量子脳力学と量子場脳理論 保江邦夫 ・脳と心 古代インド仏教と現代脳科学における「心」の発見 2:フリーマン理論による唯識の解釈 浅野孝雄 ・浅野孝雄「フリーマン理論による唯識の解釈」への応答 大和昌平
		No. 2	脳神経科学とポジティブ心理学 II <ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブ心理学とアリストテレス的实践学:多次元総合的幸福理論とポジティブ倫理学 小林正弥 ・アリストテレスの「幸福(エウダイモニア)」観念とは何か 浅野孝雄 ・西洋思想における幸福論の源泉 稲垣久和 ・心と脳の関係について 浅野孝雄 ・世界に対して亀裂をいれる者 郡司ペギオ幸夫
		No. 3	市民ボランティア、地域ガバナンス、公共政策 I <ul style="list-style-type: none"> ・ポスト成長時代の地域・公共政策・価値 広井良典 ・ケアのあり方を考える:老人福祉・介護福祉・幼老統合ケア 岡村清子 ・魂への配慮: Spiritual Care: 東日本大震災後の教育支援(釜石市立唐丹小中学校)の活動報告 長谷川(間瀬)恵美 ・震災ボランティア活動と若者の宗教心の発達 岡村直樹
		No. 4	市民ボランティア、地域ガバナンス、公共政策 II <ul style="list-style-type: none"> ・共同福祉と公共福祉の狭間:社会調査からの実証的アプローチ 福島慎太郎 ・これからの日本の福祉思想を考える 松葉ひろ美 ・なぜいま「福祉の哲学」か 広井良典 ・賀川の居場所:いま賀川豊彦をどう語るか:賀川系諸運動の本籍・現住所論によせて 篠田徹
		No. 5	医療・看護とスピリチュアリティ、そして日本的“思いやり”倫理 I <ul style="list-style-type: none"> ・「ビリーフ再構築」を基点としたスピリチュアルケア論の展開 小西達也 ・「ABC Model for Multidisciplinary Care」と「Spiritual Care」 伊藤高章 ・スピリチュアルケアの担い手:臨床宗教師とその公共性 谷山洋三 ・スピリチュアルケアと日本的“思いやり”倫理 稲垣久和

		<p>医療・看護とスピリチュアリティ、そして日本的“思いやり”倫理 II</p> <p>No. 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈あなた〉と〈わたし〉の〈幸せ〉のために：〈存在することのケア〉に向けて 森村修 ・相良亨「日本的宗教性」に基づいた日本的スピリチュアルケア試論 小西達也 ・近現代日本の霊性と幸福の位置付け、また今後の可能性 黒住真
		<p>学問と実践</p> <p>No. 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピリチュアルケアと「志向性」の脱構築 稲垣久和 ・宗教性／スピリチュアリティと精神的健康の関連：苦難への対処に関する実証的研究 松島公望 ・ポジティブ心理学と公共哲学 小林正弥 ・幸福公共哲学とポジティブ政治学 小林正弥